

平成 26 年 度

幼稚園教員資格認定試験

教職に関する科目(Ⅲ)

注 意 事 項

受験者は、下記の注意事項に従うこと。それ以外の注意事項は試験実施大学の指示によること。

1. 試験監督者の「始め」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 受験番号及び氏名を解答用紙の指定された欄に記入してください。なお、受験番号及び氏名は2枚とも必ず記入してください。
3. 解答は、すべて所定の欄に記入してください。指定された欄以外に記入されたものについては、採点対象となりません。
4. この試験の解答時間は、「始め」の合図があってから70分です。
5. 試験が終わるまで退室できません。
6. 試験監督者の「やめ」の合図があったら、直ちにやめてください。
7. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
8. 試験終了後、問題冊子を持ち帰ってもかまいません。

【問 1】

『幼稚園教育指導資料第 5 集 指導と評価に生かす記録』(平成 25 年 7 月)において、「幼稚園教育においては、『記録』が幼児理解や指導の中で重要な役割を担うこととなります。記録を続けることによって初めて、日々の保育実践の質を高めることが可能となります。」と示されている。このことを踏まえ、保育を記録する意義を三つ挙げ、さらにそれぞれについて具体的に説明しなさい。

【問 2】

次の事例は、4 歳児 10 月の一場面である。『幼稚園教育要領』(平成 20 年文部科学省告示第 26 号)には、「自然などの身近な事象に関心をもち、取り入れて遊ぶ」「身近な動植物に親しみをもって接し、生命の尊さに気付き、いたわったり、大切にしたりする」と示されているが、次の事例のように、生き物との生活をめぐって葛藤場面が起こることがある。この事例における指導の観点を二つ挙げ、さらにそれぞれの観点について事例に即して説明しなさい。

「先生、A ちゃんがコオロギをカマキリのえさにするって言うんだよ、ぼくが捕まえたのに」と B 児が大きな声で教師に助けを求めに来る。A 児と一緒に遊んでいた友達も呼んで事情を聞くと、A 児たちはカマキリのえさになる生き物を探していた。コオロギを捕まえて遊んでいた B 児の虫かごを見て、「そのコオロギをぼくたちのカマキリにちょうだい」と言ったらしい。

A 児は繰り返し、「コオロギはカマキリのえさになるんだよ」、「カマキリはコオロギが好きなんだ」と説明する。B 児は「これはぼくのコオロギだよ」と訴える。B 児の泣きそうな様子に周りの幼児たちも集まってきて心配そうに見ている。C 児は、「A ちゃんは自分で(コオロギを)捕まえればいいじゃん」と A 児に言う。D 児は、「カマキリはクモだって食べるよ」と A 児たちにアドバイスする。

<文部科学省『幼稚園教育指導資料第 1 集 指導計画の作成と保育の展開』フレーベル館,平成 25 年,118 頁より引用>

【問 3】

『幼稚園教育要領解説』(平成 20 年 10 月)では、「幼稚園教育の目標を達成していくためには、まず、教師が、それぞれの発達の時期にどのような経験が必要かなどを長期的に見通して、指導の内容や方法を予想して指導計画を立てることが必要である。」と記されている。「指導計画の作成」に必要な一般的な事項を五つ、理由とともに挙げなさい。